



議会だより

せとうち

2026

8.1

第87号



特集 2
委員会報告 ... 3~5
研修報告 5
議案審議 6
一般質問 7~15

夏到来!

(瀬戸内B&G海洋クラブ)

ようこそ瀬戸内市議会へ～国府小学校43名～



6月15日に、国府小学校6年生の児童が6月定例会を傍聴した。瀬戸内市議会が発足して、小学生が傍聴するのは初めてとなる。総勢43名が市議会の役割を学ぶため社会科学見学に訪れ、議会の様子を4班に分かれ交代で聴いた。

～子どもたちの感想の一部～

自分だったら話し合いのときに自分のことばかり考えてしまうと思うけど、議員さんはちゃんと他の人のことを考え発言していて、自分も「こんな話し合い」がしたいと思いました。

議員のみなさんが、難しい現実から目をそらさず、どうしたら市民が安心な毎日を送れるか話し合われているのがかっこよかったです。

3つの町の実情を募集し、町づくりに生かしたいという考えが出て、すごいなと思いました。これからは、私も町づくりに協力していきたいです。

一つの施設ができるにも、できるまでにこんなにたくさんの話し合いがあるなんて思ってもみなかったです。

市議会で話し合う人たちがいるから、住みやすい市になっているんだなと思いました。親や子どもの目線から考えてくれていてありがたかったです。

いじめや災害などの問題をいろいろな人の目線で考え、解決しようと努力してくれていたことがとてもうれしかったです。



瀬戸内市議会では、どなたでも傍聴いただけます。是非一度、議会にお越しください。

議会運営委員会報告

議会運営委員会は、2人以上の所属議員を有する各会派から選出された8人の委員で構成され、議会の円滑に運営するために設置されている。

議会の映像データ提供の申し合わせを決定

議会活動を積極的に公開することを目的として、本会議の映像データを議員及び執行部に提供するための申し合わせを定めた。

請願・陳情の取り扱いルールを決定

原則として、招集日の8日前の13時までに受理されたものが会期中の審議対象となる。「請願」は紹介議員が必要となる。

市内居住者からの「陳情」については、議会運営委員会にて決定した判断基準に基づき協議する。審査の結果は、後日提出者に通知する。

※請願・陳情とは
市民が議会などに対して、意見や要望を文書で提出し、改善や対応を求める制度

議会BCP(業務継続計画) — 持続可能な議会運営の 確立に向けて —

大規模災害等の非常時に議会の機能が途切れないよう、連絡体制や対応手順をあらかじめ定め、市対策本部と連携することにより市民の安全確保と議会機能の早期回復を図ることを目的として議会BCPの策定に取り組んでいる。

目的や方針、構成案、想定する災害等を整理し、非常時の連絡体制、議員の行動基準、災害対策本部との連携方法を協議している。今後完成したら報告する。

お知らせ

本議会から岡山県市議会議長会採択議案として提出

《 少子高齢化・人口減少下における持続可能な行政運営への支援 》

国に対し、支援を要望する議案を中国市議会議長会に提出した。

意見書の内容

1. 地方自治体における専門技術職員の確保・育成に向けた制度的支援
2. 人口減少地域における行政改革やデジタル化の推進に対する財政的・人的支援
3. 公共インフラ維持更新費や地域福祉施策に対する国庫補助の充実



所管事務調査報告

議会の常任委員会が、自らテーマを定めて自分たちの担当分野（所管事務）の実態や課題を調べ、その結果を報告や提言としてまとめる調査活動を指す。条例・予算審査とは別に、政策立案や行政チェック機能を高めるために行う。

議員は、年に4度の議会定例会中にだけ活動しているわけではなく、こうして閉会中に様々な調査研究活動をしている。こうした所管事務調査が、市民生活に直結した課題解決につながっていく。

総務

空き家・移住定住政策の今後のビジョンについて

調査日：令和8年5月27日

本市の空き家対策では、空き家バンクや改修・事業所開設・家財処分の各補助制度の実績が示され、活用可能な空き家の流通促進が課題として共有された。委員からは、県外移住者に限定した補助制度の見直し、県内移住者への支援拡充、空き家実態の再調査、空き家バンクの検索性向上や地図表示、活用事例の積極的周知を求める意見が相次いだ。移住定住政策では、お試し住宅や現地案内の実績が報告され、若い子育て世帯の利用増加や、仕事確保、県内移住者も含めた受入れ拡充、地域おこし協力隊の活用強化が今後の重要課題として示された。空き家対策と移住定住施策を一体的に進められるよう研究していきたい。



裳掛地区コミュニティ協議会による空き家清掃の様子

地域ビジネス支援センター(仮)について

調査日：令和8年5月27日

商工会等は、令和9年2月開設予定の地域ビジネス支援センター(仮)へ移転する。地域ビジネス支援センター(仮)は、創業・就労支援機能の強化を図るとともに、市民同士の交流や新たな価値の創出につながる施設を目指す。

議員からは、運営内容や利用料金、駐車場、導線整備などを指摘した。今後も開設に向けた準備状況を継続して調査していきたい。

商工会の支援と今後について

調査日：令和8年5月27日

瀬戸内市では、市内事業者の経営を支え、地域経済の活性化につなげるため、瀬戸内市商工会へ年間1,200万円の補助金を交付している。また、運転資金や設備投資に係る事業者の負担軽減を図るため、3つの利子補給制度を設け、資金面での支援を行っている。

今後も商工会との連携をさらに深め、地域経済の活性化につなげていきたい。

瀬戸内市社会福祉協議会について

調査日：令和8年4月30日

本市がさまざまな福祉関連業務を委託している社会福祉協議会から権利擁護センターや生活相談支援センター等の現状が示され、社会福祉士の資格を有する専門職のスタッフから福祉サービスと地域ボランティアをつなぐ難しさなどの課題を共有した。

委員からは、ヘルパー等の人材を確保して現在行っている支援の継続等を求めた。

牛窓地区小学校のこれからについて

調査日：令和8年5月28日

牛窓地区の児童数が減ってきていることから、今後どのような教育環境を整えるのが良いか、市民の意見を聞くために牛窓地区小学校の「これから」を考えるアンケートを瀬戸内市内全域の16歳以上の市民を対象に行うと報告された。また、アンケート結果は今年度末までに公表することも報告された。委員からは未就学児から中学生



「これからの牛窓の学校について考える」説明会の様子

までの対象となる方への配慮や説明会の開催、結論ありきで進めるものではないことを求めた。

研修報告

目的 議会だよりの構成について

講師 マスコミ関係者

日付 5月11日

内容 議会だよりは、誰が読んでも内容が理解できるよう、分かりやすく作成することが大切である。そのため、「いつ」「誰が」「どこで」などの情報を明確にし、実施する理由も簡潔に記載する必要がある。また、自分の意見を記載する場合は、作成後に内容を見直し、表現が適切であるか確認することも重要である。



目的 「議会だよりの改善無料トライアル（オンライン診断）」

講師 ㈱会議録センター 矢嶋 洋美氏

日付 6月4日

内容 議会だよりを作成する際は、1ページに1枚程度の写真を掲載し、視覚的に分かりやすい紙面づくりを心掛けることが重要である。特に見開き1ページ目は読者の興味を引く「つかみ」のページとなるため、内容やレイアウトを工夫する必要がある。文字を詰め込みすぎると読みにくくなるため、適切な余白を確保することも大切である。市民が関心を持てる内容を意識して記事を作成し、市民へのインタビュー記事を掲載することで、より身近に感じてもらえる紙面づくりにつながる。



スマート農業推進に 約970万円

国が進める[※]スマート農業に取り組もうとする農業者を支援するための予算が計上され、可決した。

問 何件対象となったのか。

答 対象は2件である。

問 どのような内容か。

答 1件目は、ロボット草刈機の導入である。農作業の中でも負担の大きい除草作業を自動化することで、作業の省力化を図ることを目的とする。

2件目は、最新技術を活用した稲作経営の改善に関するものである。具体的には、圃場ごとの生育状況に合わせて肥料の量を調整できる「可変施肥対応ドローン」と、収穫と同時に収量を正確に計測できるコンバインの導入である。



スマート農業を導入している農家

問 農業者への補助の内容は。

答 機械導入に2分の1、ドローンの免許講習費や保険料に全額補助する（1年）。

※スマート農業とは
人手不足や高齢化という農業の課題を解決し、経験の浅い人でも高品質な農作物を安定して作れる仕組み。AI・IoT・ロボットなど最新技術を活用し農作業の自動化や効率化を目指す新しい農業のこと。

事業者の水道基本料金も無料に

約1千600万円

事業者支援として、国からの「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を使い市内事業者の水道基本料金を無料とする予算が計上され、可決した。

問 対象と支援の詳細は。

答 事業者支援として、市内1千事業者を対象に、1ヵ月分の水道基本料金2千200円（10立方メートルの場合）を6ヵ月分免除する。

問 事業者支援に水道基本料金を選択した理由は。

答 市役所内で実施可能な事業の希望調査を行ったうえで、前回同様、コストがかからないスピード重視で選択した。

問 誰一人取り残さない原則から考えると、井戸水の家庭にも何らかの支援を考えることは出来ないか。

答 井戸水世帯は、水道料金が発生しないため、減免は難しい。



6月議会提出の補正予算5件、条例12件、その他8件 すべてについて全会一致で可決した。

一般質問

- 廣野 真智子（7ページ）
 - 市の魅力のアピールについて
 - ふるさと納税について
 - 消防関係について
 - 文化財について
- 島津 幸枝（8ページ）
 - 海洋プラごみ問題について
 - オープンクリエイション官民共創について
 - ジェンダー平等社会の実現を
- 石原 芳高（8ページ）
 - 生活道路における法定速度引下げについて
 - 職員の雇用とマネジメントについて
 - 副市長の責務を問う
- 小谷 和志（9ページ）
 - 道路整備について
 - ごみ行政について
 - 入札について
 - 小・中学校のグラウンドについて
- 原野 健一（9ページ）
 - 自主防災組織について
 - 景観整備について
 - 小規模事業者支援策について
- 谷 美香（10ページ）
 - 備前長船の刀剣文化を生かした観光振興と地域経済活性化について
 - 地域おこし協力隊の受入れについて
 - 児童・生徒が安心して登校できる環境づくりについて
- 川勝 浩子（10ページ）
 - 災害に対する取組について
 - 教育環境について
 - 多様な働き方について
 - 観光への取組について
- 厚東 晃央（11ページ）
 - 子育てしやすいまちについて
 - 市内中小業者の支援について
 - 人が集い、手取りが増えるまちづくりについて
- 秦井 誠司（11ページ）
 - ゼロカーボンシティの実現について
 - 財政状況について
 - 岡山県が指定する高潮浸水想定区域について
- 木下 公文（12ページ）
 - 鹿忍旧塩田跡地について
 - 情報公開制度の運用について
 - 物価高騰対策について
- 増田 貴之（12ページ）
 - 農業問題について
 - 災害時の避難について
 - 平和と市民生活について
- 原田 茂（13ページ）
 - 教育振興について
 - 情報管理について
 - 長船駅について
- 鳥原 舞（13ページ）
 - いじめ問題への行政的取組の具体化について
 - 避難所、公共施設、個人宅におけるトイレ環境の整備について
 - 子育て支援の充実に向けた紙おむつのサブスクリプションサービスの導入について
- 河本 裕志（14ページ）
 - 教育行政について
 - 瀬戸内市のイメージについて
 - JR駅舎の活用について
- 相澤 忠明（14ページ）
 - 生徒が安心して学べる公共学習環境の整備について
 - 大学、高専、企業等との小さな連携による地域資源の活用について
 - 地域ビジネス支援センターの有効利用について
 - 林野火災予防に向けた周知啓発と制度運用について
- 成本 崇（15ページ）
 - 生成AIの導入状況と今後の方針について
 - ウォーターP（水の官民連携）の発展的な活用について
 - 放課後児童クラブでの作業療法士（OT）活用による子ども支援の充実について
- 日下 俊子（15ページ）
 - 行政姿勢について
 - 第2宮下産業団地について

写真：もうすぐ出番を迎える桃太郎ブドウ（長船町磯上地域）



廣野 真智子

問 新しい救助工作車の使用状況は

答 隊員の訓練を経て6月から運用している



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 新しく配備された救助工作車について問う。

消防長

新型車両はバス型キャビン構造である。救助隊員16名が主体で取り扱う。道が細い現場には他の自動車とともに対応する。

新しい資機材の取り扱い訓練は、毎日行っている。

問 高齢者の防火対策は。

消防長

高齢者世帯に個別訪問し、住宅用火災警報器の点検指導を行っている。出前講座も実施している。

問 各庁舎を訪れた方に、市の施策をPRする取り組みは。

総務部長

インターネットでの周知に移行していく。オンライン手続きも拡大していく。

問 公民館などのホール事業情報を集約できないか。

教育次長

既存のツールを活用し情報集約を進め、見やすくしていく。

問 文化財保存の取組は。

成長戦略部参与

維持管理の相談があれば、補助金の活用を紹介している。



新しく配備された救助工作車



小谷 和志

問 ごみ袋が不足することはないのか

答 十分な量の確保ができている状況である



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 黄色のごみ袋は倉庫に残っている状態である。在庫処分し、新たな青色のごみ袋をはじめたほうがいいのではないのか。

黄色のごみ袋は大サイズが約54万枚、小サイズが約24万枚、特小サイズが約8万枚である。

環境部長

問 黄色のごみ袋の在庫はどのくらいあるか。

十分な量の確保ができていない状況である。青色のごみ袋は大サイズが43万枚、中サイズが20万枚、小サイズが24万枚、特小サイズが11万枚の在庫がある。今年度中、さらに納品がある予定である。

環境部長

問 今年度からごみ袋が替わるが、世間では材料が不足している自治体もある。市は大丈夫なのか。

クリーン作戦では旧町時代の袋を活用している。黄色の袋は災害時の避難所や市内の公共施設での活用を検討している。

環境部長

難波副市長

在庫はゼロ枚で切り替えられるのが一番良いが、市場でなくなるタイミングも考えて余裕を持って作成している。



積み上がった旧指定ごみ袋



原野 健一

問 景観確保を目的とした樹木伐採を

答 財源確保や他市の事例の研究を進める



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

観光地において美しい海が見える景観は、非常に重要な観光資源である。オリーブロードが開設された当時は、景色を遮る樹木も少なく、すばらしい景観であったと聞いている。しかし、現在では、道路脇だけではなく、その下の民有地において

産業建設部長

問 牛窓のオリーブロードは、景観を観光資源とするために造られた道路であると聞いていたが、現在では全線に雑木が大きく生い茂り、全くその体をなしていない。本来、日本のエーゲ海と称される美しい多島美を楽しむ絶景ルートであることから、実にもったいない話である。

以前の答弁では、地権者の伐採同意が必要であることや、また財源問題から全く整備ができていないとのことであったが、そろそろ一歩踏み出すべきではないか。



観光道路であるオリーブロードを走る車窓からは、雑木が伸びすぎ、日本のエーゲ海はほとんど見ることができない。

視界を大きく遮る樹木が繁茂している。道路管理者としては、眺望を確保する目的だけの伐採は今まで行っていない。全線での伐採はハードルが高すぎるが、今後は、眺望保持のための財源の確保や、他市の事例の研究を進めていく。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

島津 幸枝

問 カヌーを使い、河川ごみ対策を

答 今後の取り組みとして研究したい



カヌーによる浮遊ごみの回収については、市民グループなどとの協力体制など、今後の取組として研究したい。

環境部長

問 海洋プラごみ対策は地球環境の将来がかかった大問題である。海洋ごみの7割が河川から流出したごみであるため、河川に浮遊するプラごみ等の撤去は大変有効とされている。他市ではカヌーで河川ごみを撤去しているという対策を。



産業戦略と生活支援の両面から手取りが増えるよう努めたい。

成長戦略部参与

問 ケア労働者の所得をどのように捉え、どのように改善していく方針を持っているのか。

今後研究したい。

環境部長

問 クリーン作戦では、市が河川ごみの回収も含めて地域ごとに詳細な内容を指定して取り組みようにしてはどうか。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

石原 芳高

問 副市長の責務を問う

答 庁内を調整し、部署の連携を目指す



難波副市長答弁

瀬戸内市副市長の事務分担に関する規程に基づいて所管を分担している。

難波副市長

問 村山副市長との役割分担はどうなるのか。

庁内全体を横断的に調整し、各部署が連携して効率的な市政運営を進めることが重要な責務だと考えている。

難波副市長

問 就任から数か月経過したが、副市長としての責務と役割をどのように考えているのか。

令和8年9月1日から、改正道路交通法施行令が施行されることに伴い、生活道路における自動車の法定速度が、60キロから30キロに引き下げられる。

市長

市民への周知や発信も、各担当課や警察と連携しながら進めていきたい。市職員や委託業者に対して、周知徹底できるように、情報共有と連携を図ることが重要なことだと考える。





厚東 晃央

問 大規模マルシェ「ハレノバ」の今後は

答 今年度内に複数回開催を想定している



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

成長戦略部長
想定を超えた申し込みがあり、市内業者優先や断られたと聞く。市内出店者を優先すべきではないか。選考ルールはあるのか。

成長戦略部長
地域に親しまれるマルシェとして定着、発展していくよう多様な連携の可能性を模索していく。

問 環境フェスタ等の市内イベントと連携して開催すべきではないか。

成長戦略部長

成長戦略部長
今回の実績の評価や課題をもとに、今年度内に複数回の開催を想定している。

問 市内の中小業者の活性化になる大規模マルシェ「ハレノバ」は、今後どのようにしていくのか。

成長戦略部長



あいにくの天気だったがたくさんの来場者で賑わったハレノバマルシェ

成長戦略部長
現段階では検討に至っていない。今回は中型バスのみ運行する。

問 ハレノバの日に運行するのは、中型バスだけでなく市営ワゴンバスも必要では。

市長
明確な基準は設定できない可能性もあるが、議論はしていく。

申し込み順などで調整した。選考ルールは事前に決めておくべきと考えている。



秦井 誠司

問 ゼロカーボンシティの実現について

答 将来を考えてしっかり取り組んでいく



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

環境部長
本市のゼロカーボンシティ施策は、他市より10年早い2040年までの脱炭素達成を目標としており、重点対策加速化事業と脱炭素先行地域づくり事業を中心に取り組んでいる。

問 ゼロカーボンシティ実現に向けた進捗は。

環境部長



美しい景観を残そう（黒島ヴィアスロードから瀬戸内市を望む）

環境部長
進捗状況を可視化することは強く意識している。さらなる市民の理解と協力を得られるよう努める。

問 市民に対して、進捗の「見える化」が課題では。

市長
現段階では目標に対して遅延しているが、将来についてもしっかり考えて取り組んでいきたいと考えている。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

谷 美香

問 山鳥毛公開による経済効果は

答 今年度までの展示で約8億円の経済効果



2月末に周知した中学校区では、児童・生徒数や送迎車両が多いため、

教育長

問 登校時刻見直しにおける学校ごとに異なる通知時期についてどのように捉えているのか。また、保護者から「通知が遅く仕事の調整に困った」との声を多く聞いている。生活に直結する案内は、最低3か月前に通知が必要ではないか。

成長戦略部長
今後は、刀剣を含む観光全般の戦略として、
①宿泊機能の強化
②インバウンドの本格展開
③広域連携の強力な推進について
市全体を面的に周遊できる仕組みを、構築していく。



安全な通学動線の確保や警察、関係各所との調整に時間がかかり、周知が遅くなった。心配、ご迷惑をかけ、誠に申し訳ない。
保護者の理解や協力、地域の見守り隊の協力で、安全に登校できていると認識している。
今後、より分かりやすい情報提供に努める。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

川勝 浩子

問 学校外教育バウチャー給付事業の内容は

答 中学生に三千円のクーポン券を配布する



問 ペット避難の現状は。

総務部参与

問 新たな防災気象情報の市民への周知の仕方。

成長戦略部長
市内の中学生一人につき月額三千円のクーポン券を配布する。利用先は学習活動・スポーツ活動・習い事など芸術活動を行う事業所など、幅広い範囲を想定している。
12月から1月頃に対象事業所へ周知・募集し、3月頃から中学1・2年と小学6年生に周知する。



中央公民館に設置した小型犬以外の避難場所

問 繁忙期の農業の人手不足や短時間就労を希望する人のために、瀬戸内市版スキマバイトアプリを導入しては。

産業建設部長

農業に特化したスキマバイトアプリにJ-Aの「デイワーク」がある。これをホームページなどで情報発信したい。

問 学校外教育バウチャー給付事業の内容と進め方はどうしていくのか。

総務部参与

令和8年3月に中央公民館にペット避難を想定した施設を整備した。



原田 茂

問 全国学力テストの具体的な対策は

答 表現力と情報発信の育成に取り組む



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

教育長

問 令和7年度全国学力テストの瀬戸内市の結果をどう評価し、具体的な対策をどう講じるのか。

文章を書く機会や対話を通じて考えを深める活動を充実させ、表現力の育成に取り組む。また、一人1台端末を効果的に活用し、情報分析と発信する力の育成にも努める。

問 令和7年11月と令和8年5月にメールアドレスや氏名が流出した事案の再発防止の対応策は。

総務部長
今後このような事案を



バリアフリー化していない長船駅の連絡橋

産業建設部長

問 長船駅について、乗降者数を増やすためにはバリアフリー化が必要なのではないか。

JR西日本と協議を進めるとともに、国から有利な財源を得られる事業として適合するよう事業計画を研究したい。

市長

乗降客数を増やす努力を議員とも一緒になって取り組んでいきたい。それが達成できた場合には、いろいろな財源も確保できる選択肢が増えてくる。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

鳶原 舞

問 いじめ問題への行政的取組を

答 令和9年4月に危機管理課内へ設置予定



市長

問 令和8年2月議会では、会派から提案した、教育・行政・司法の三位一体によるいじめ対策について、人員体制を整える必要があると考える。専門性のある地域おこし協力隊を配置しては。また、いじめの早期解決と迅速な対応を担保するための条例制定の予定は。

地域おこし協力隊については選任肢の一つとして認識し、条例案は本年12月定例会への提出を目指し準備を進めている。



総務部参与

問 指定避難所となつて、いる公共施設のトイレ洋式化率は。今後、洋式化に向けた計画的な推進をすべきでは。

公共施設45カ所の洋式化率は83・9％で、今後は優先順位をつけながら洋式化を検討する。

健康福祉部長

問 在宅避難や転倒防止の観点から、個人宅の和式トイレの洋式化への助成制度を導入しては。

介護保険対象外の方への単市財源による補助は、財政の確保が難しい。

村山副市長

問 公立保育園での紙おむつサブスク導入に向けた市の見解は。

現場の混乱や保護者の満足値などを総合的に勘案しながら検討する。

木下 公文

問 市独自の物価高騰支援をしては

答 三本柱の政策で支援していく



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



市長

問 物価高騰による市民生活や事業活動への影響が多くみられる。市としてどのように認識をしているのか。

物価高騰は、重要な課題として認識をしている。本市では、市民の暮らしや地域経済を支えるため、国の施策や交付金を最大限活用し、必要な支援策を講じている。限られた交付金の中で、事務経費を抑えることで、市民の皆さまに直接的な還元を最大化できるように取り組んでいる。

問 国においては物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金などを通じ、地域の実情に応じた対策をしている。

しかし、物価高騰の影響は地域や世帯、業種によって異なるため、国制度を待つだけでなく、市として主体的な対応が必要だと考える。



市長

市独自の支援策を検討しては。

市民生活の支援策としては、国の交付金を活用して水道料金の減免等の生活負担軽減を図っている。市内事業者の支援策としては、「市場拡大」「生産性向上を支えるDXの推進」「規制緩和」の三本柱で支援をしていき、地域経済の回復と発展に取り組んでいきたい。

増田 貴之

問 営農型太陽光発電のガイドライン策定を

答 市独自の策定は慎重に検討する



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



産業建設部長

問 営農型太陽光発電に関する市独自のガイドラインを策定してはどうか。

国が制定しているガイドラインは地域の実情等を十分に考慮したものではない。地域の実情と多様な意見を見極め、市独自のものは慎重に検討する。



水田の中の営農型太陽光パネル

問 稲作農家への直接支援を行ってはどうか。

農業・建設業・製造業など幅広い業種への影響を認識している。県や商工会と連携して状況把握を行い、国へ必要な支援策を要望していく。

成長戦略部参与

問 ナフサの供給不安が市民生活や中小事業者へ与える影響をどのように捉えているか。

指定避難所ではペット同伴の受け入れが可能である。避難所運営マニュアルを整備し、飼い主の責任で管理してもらう。ペット専用の施設設備は施設管理者の理解が必要。

総務部参与

問 指定避難所でペット同行避難をどのように想定しているのか。

農業を取り巻く状況は厳しいと認識しているが、現在は米価が上昇しているため直接支援は予定していない。



成本 崇

問

放課後児童クラブで作業療法士の活用は

答

研修講師として招くことを前向きに検討



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



作業療法士を招いての研修（イメージ）

問 放課後児童クラブにおいて発達障害やその傾向がある児童への対応が課題となっている中、作業療法士の定期派遣や、支援員向けの研修に作業療法士を講師として招く考えはあるか。

こども未来部長

まずは市の専門職をしっかりと活用していく。一方で、作業療法士をはじめとする専門職から知

※ウオーターPPPとは
水道や下水道の管理・運営を、自治体（官）と民間企業（民）が協力して行う仕組み

老朽化対策における交付金獲得のため、ウオーターPPPの導入検討は必須と認識している。今年度実施する基礎調査で本市の実情や課題を整理し、導入可能性調査への移行を検討する。安直な導入は委託料の高騰などの懸念もあるため、慎重に勘案する。

上下水道部長

問 下水道で、今後、国が推進しているウオーターPPP（水の官民連携）による民間活用の検討は。

識を得る研修の重要性は認識している。支援員のニーズや現場の声を踏まえ、研修の講師として招くことなどを前向きに検討していく。



日下 俊子

問

広報市営バス無料券印刷は議会軽視では

答

議会軽視という言葉は遣うべきでない



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



◀ 広報4月号に印刷されたバス無料乗車券 ※ホームページでは、不正使用が出来なくなっている。

条例改正や予算措置を伴わない案件のため、今回の委員会で報告する。

村山副市長

問 2月議会中に、議会に相談なく広報に無料乗車チケットを印刷したのは、議会軽視ではないか。

問 物価高騰の水道基本料金の時は、一家庭一律なのは不公平といえた。また、井戸水の家庭

を取り残したが、今回は広報が届かない家庭を取り残した。行政というのは、誰一人取り残さないのが原則では。

村山副市長

最大効率も求めバランスを考えている。

問 第2宮下産業団地が、売却後二年半になる。誘致企業とは定期的な話し合いが持たれているとはいえ、開業はいつになるのか、水道や本市の米はどのくらい使用してもらえるのか、気になるところである。

市長

密に連絡を取っていく必要があると認識している。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

河本 裕志

問

中学校体育館のエアコン設置は

答

3校同時に空調設備を整備する



問 中学校の体育館へエアコン設置計画はどうなっているのか。また、夏季気温は非常に高くなるので早急に対応が必要だが、学校の授業に影響のないタイミングで工事をする必要があるのでは。

教育次長

3中学校同時進行で空調設備を整備する。現場での設置工事は令和9年1月以降になると考えている。

問 JR久松駅と長船駅は無人駅となり、駅舎が活用されていないが、駅舎を活用しないのか。

市長

JR利用者数を増やす施策の一つとして、駅での待ち時間を長く感じさせない環境整備は必要と考えている。

現在、JR西日本と定期的な情報交換の場を設けている。JR側から、



活用が望まれる無人となった駅舎

市が活用するのであれば建物の無償譲渡も検討できると前向きな提案をいただいた。7月下旬には、JR西日本岡山支社長と久松駅・長船駅の駅舎内を視察する予定である。駅のにぎわい創出は、市内全域の活性化に波及する効果があると考えている。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

相澤 忠明

問

大学等と地域資源の実証連携を進めては

答

官民共創制度で小規模連携を検討する



問 大学や高専、企業等と連携し、地域資源を学びや研究、商品開発に活用しては。

成長戦略部長

これまでも大学による調査や地域活動の実績がある。地域資源を分かりやすく示す仕組みは十分でないため、市政推進課を窓口にも、官民共創制度も活用し、小規模な連携を検討する。

問 図書館の学習席不足への対応は。

教育長

試験前や休日の午後に混雑が見られる。市内利用者を優先し、満席時はSNSで知らせる。夏休みの対応も検討していく。

問 地域ビジネス支援センターを創業支援・就労・交流・若者育成まで一体的に活用する考えは。



瀬戸内市民図書館 ©瀬戸内市

問 林野火災への周知は十分か。

消防長

広報を目的としたデジタルサイネージを今後研究する。

成長戦略部参与 商工会や就労支援機関が入り、創業・経営・就労を一体的に支援する。金融機関や専門家とも連携し、若者の交流や挑戦にもつなげていく。



★地域のかがやき★

地域の写真を市民のみなさんから募集します
(下記メールアドレスにお送り下さい)



鞠負(ゆきえ)神社 大祓
(夏越し)



親子で泥んこ田植え
(コシヒケリ稲作の会)



願いを灯す七夕の夜
(牛窓)



岡山県消防操法大会 3年連続入賞
(長浜分団)



自然と歴史ある建築を堪能できる
牛窓神社へ、一度訪れてみてはいかがでしょう。

本殿は文化九年(一一八二)に再
建された近世の神社建築の様式を残
す貴重な建物であり、市重要文化財
に指定されています。
屋根には千鳥破風(ちどりばふ)入り母屋造とい
う三角形の小屋根状の装飾をする特
徴的な様式です。また檜皮葺(ひのかわぶき)という
ヒノキの樹皮を幾重にも重ねて仕上
げる日本古来の屋根工法や、細部に
施された彫刻など優美な意匠を感じ
られます。

知ってますか? 文化財



牛窓神社本殿

牛窓神社周辺は瀬戸内
海国立公園に指定され、
参道途中にある展望から
は瀬戸内海を一望できま
す。

牛窓神社は、大分県
宇佐八幡宮から勧請され
たと伝わる神社です。

編集後記

厳しい暑さが続く中、皆さまに
おかれましてはいかがお過ごしで
しょうか。物価高騰の影響も続い
ており、日々の暮らしに不安を感じ
ておられる方も多いことと存じ
ます。

今議会は、国府小学校の43名の
児童が傍聴に來られました。本市
の未来を担う子どもたちに議会を
身近に感じてもらえる機会の大切
さを実感しました。また、こうし
て若い世代が議会に関心を持つて
くれることは、今後のまちづくり
に大きな力になると感じました。

今後またたくさんの方に関心を
持っていただけるよう、議会だより
を通じてお伝えしてまいります。
引き続き、ご理解とご協力を賜り
ますようお願い申し上げます。

(木下 公文)

次回定例会の予定

(インターネット中継のある日)

都合により、日程が変更となる場合もあります。

8月26日(水)	本会議	9:30~
9月 3日(木)	本会議	9:30~ 一般質問
4日(金)	本会議	9:30~ 一般質問
7日(月)	本会議	9:30~ 一般質問
8日(火)	本会議	9:30~
18日(金)	本会議	9:30~

※本会議場で行う予算・決算委員会も中継して
おります。 9月17日(木) 9:30~
(生中継のみ) 11月 6日(金) 9:30~

会議の様子を、生中継および
録画放映でご覧になれます。



この市議会だよりは再生紙を使用しています

●お問い合わせは議会事務局 (0869) 22-0979までお願いします。

E-メールアドレス gikaijimu@city.setouchi.lg.jp

瀬戸内市議会ホームページアドレス <https://www.city.setouchi.lg.jp>

*この市議会だよりは一部ユニバーサルデザインフォントを使用しております。